

コミュニケーションは **心** のキャッチボール



投げかけるあなた

相手の心に届くボール
相手がしっかり受け止められるボール
強すぎないか？
ゆるすぎないか？
それてしまうのではないかな？
いろいろ考えて あなたの心で

コミュニケーションは
単に言葉だけのやりとりでは
ないのです。
あなた自身に相手を
大切に思う気持ちがあれば
表情や態度にもそれが表れ
その思いは必ず伝わっていくのです。

日ごろの生活の中で
コミュニケーションがうまくいかず
悩んだりいやな思いをしたことが
ありませんか。

言葉を飾る必要なんてありません。
素直な気持ちが態度に表れ
それが言葉になるのです。

人とかかわりにしりごみしていると
あなたの気持ちは伝わらないし
あなたも相手の思いを
受け取ることができません。

通信技術が発達し

フェイス・トゥー・フェイスのやり取りだけでは
なくなってしまったけれど
実はずっとずっとむかしから、人は
そうしたコミュニケーションに
心をくわいてきたのです。
手紙や電報、そして電話……。
そこに、相手を大切に思う気持ちがあれば
心は込められ
その思いを届けることができるのです。

たとえばメールで送られるひと言ひと言
心にどう響くかは受け取る人、百人百様。
顔文字 (><) (^_^) ひとつで
相手の心がなごむこともあれば傷つくこともある。
私たちは、受け取る人の心を
よくよく考えなければなりません。
自分の言葉に相手がどう感じるのだろうか
向かい合っていないからこそ
心をくばらなければならないのです。

受け取るあなた

相手はどんなボールを
投げってくれるだろう？
ちょっとそれるかもしれない
届かないかもしれない
オーバーするかもしれない
でもそれをしっかり受け止めようとする
あなたの心